



第234号

発行所 札幌市中央区北3条西19丁目 (郵便番号 060-0003) 北海道教区教務所 電話 011-611-9623 編集 北海道教区教務所 発行人 黒田 正 宣

# 第一〇六回定期教区会教務所長 所信表明

早春の息吹身に染む今日此頃ではございますが、本日ここに第一〇六回定期教区会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、万障お繰り合わせの上ご参集いただきましたこと、御礼申し上げます。最初に、平成27年1月16日に本願寺御影堂にて、ご門主より「伝灯奉告法要についてのご消息」が発表されました。ご門主は、「ここに法統継承を仏祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展とを期して、平成28年および29年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。」と、か

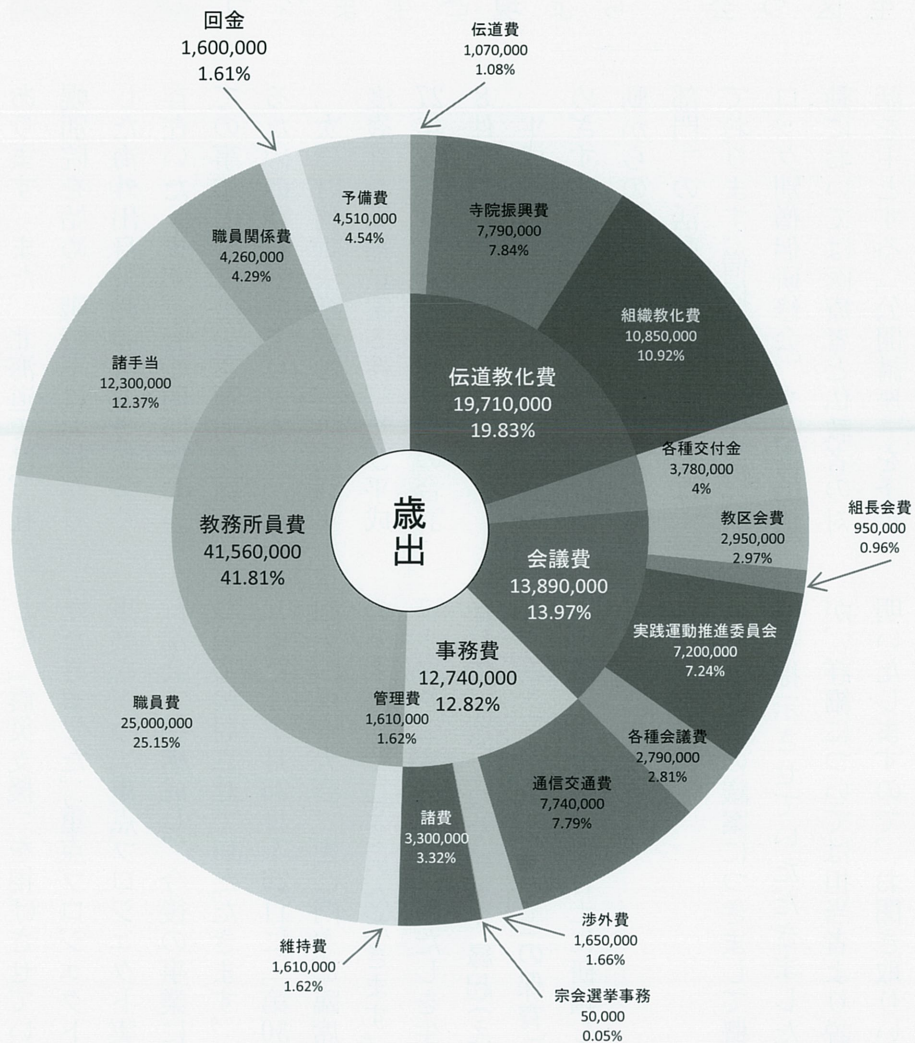
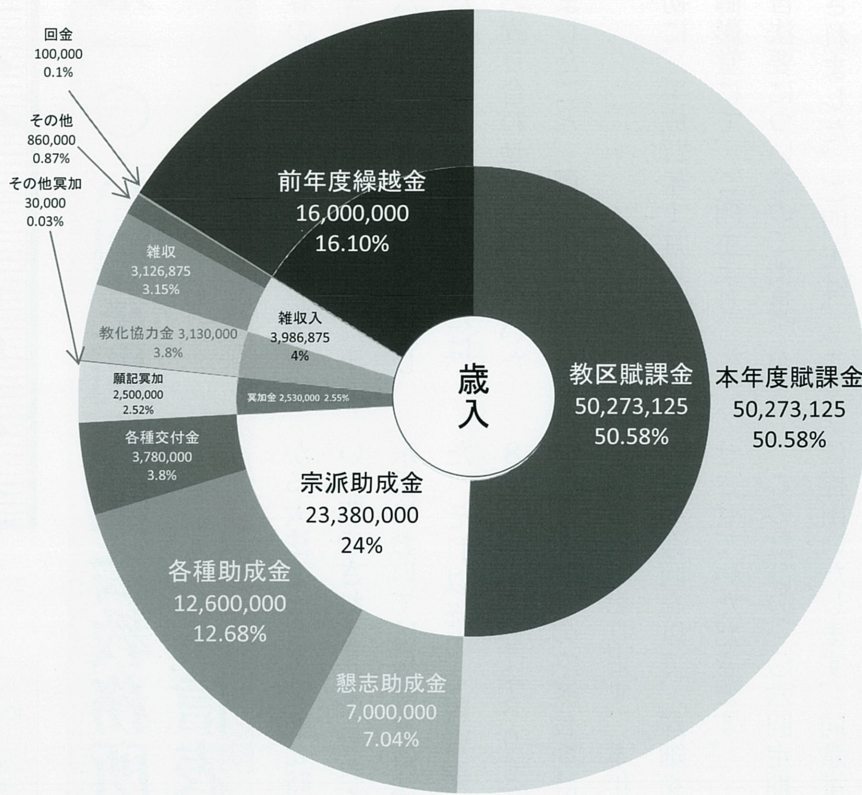
かる大法要厳修の意義と時期について明示されました。それを受け、宗派においては伝灯奉告法要、また、それ以降の「親鸞聖人誕生850年・立教開宗800年法要」の法要期間での宗派長期計画を現在検討しております。本年6月より総局巡回を以て、詳細をお知らせさせていただきます。このたびの第一〇六回定期教区会に提出いたします、同意案件について、空知南組前山勇治門徒教区会議員は、昨年12月25日にご往生されました。前山議員は、教区会計監査でありましたので、その後任監査委員の任命同意をいただく議案であります。

次に法規議案であります。本年は、戦後70周年を迎えます。その70周年を迎えるにあたり、戦禍を風化させないよう教区として取り組みを検討するための委員会があります。また、北海道では、札幌別院を始め、戦時下にお預かりした海外出身労働者の遺骨が多く存在いたします。戦後問題についての事業としてその奉還も検討するための委員会があります。次に財務議決議案は、平成26年度歳計予算補正案3件、及び平成27年度各種歳計予算案5件の合計8件であります。平成27年度の「御同朋の社会をめぐす運動」においては、基幹運動からの継続事業としての「経常部門」の活動がより具体的となっております。僧侶養成のための「ブロック別僧侶研修会」や社会的活動においては医療者と仏教者の対話を主とする「公開講座」を予定しております。また、「移動教務所」を実施し、北海道教区内寺院の運営上の状況・課題を聴取し、その対応について検討いたします。

また、北海道教区「重点プロジェクト」は昨年を以て、一つの区切りを迎えました。次期重点プロジェクトは、被災地の復興が不十分であるという判断から、継続して「震災支援」を掲げさせていただきますました。重点プロジェクト事業を担う「重点プロジェクト実行部会」を構成し、今後の事業について検討させていただきます。また、7月25日と26日に「第30回全国保育大会」をご門主ご臨席のもと、開催させていただきました。テーマを「すべてが、わたしを生かしているくつながり・縁起(えんぎ)く」とし、「まことの保育」を実践する全国の保育士に研鑽していただきます。以上3つの議案につきまして概略を提示させていただきましたが、詳細については担当者より説明いたしますので、お聞き取りいただき、ご審議の上、満場一致をもってご採択くださいますようお願い申し上げます。以上

二〇一五(平成二七)年度 北海道教区一般会計予算 百分率表

総予算..九九、四〇〇、〇〇〇円



## 御同朋の社会を めざす運動

### 北海道教区委員会開催

去る、3月27日に「御同朋の社会をめざす運動北海道教区委員会」(委員長 黒田正宣教務所長)が開催され、各組代表、各教化団体代表が出席し、今年度の重点プロジェクト、並びに各専門部会の活動報告、及び次年度計画について報告をおこないました。

委員会開催にあたり、まず林川副委員長より「20年に及ぶ差別事件についての対応が終結したが、その上で未だに現実生活の上で差別に苦しむ方々がいることを見逃してはならず、御同朋の社会をめざす運動を進める私たちは、学びの取り組みを続けなければならぬ。また、10ヶ年の長期計画をたてた教区として、少しずつではあるが取り組みの成果がみられていると感じています」と今年度の全体総括が述べられました。

## 2014年度活動報告について 【重点プロジェクト「災害支援」】

2012(平成24)年度からの3年間「重点プロジェクト」を「災害支援」とし、東日本大震災をはじめとする被災者への支援を道内別院・16組・342ヶ寺・各教化団体・各種団体をあげて行うことと取り組んでまいりましたが、その活動報告を重点プロジェクト実行部会 加藤泰和部長より行いました。

主な取り組みの内容としては、被災地視察の実施から、法要支援や被災地清掃作業、炊き出し事業、落語会などの現地での活動と、ボランティア養成研修会や保養受入のための研修会の開催、また高線量地域に住むご家族を北海道に迎える「ほっこりプロジェクト」など教区内での活動を行い、震災後から「被災地の声を聴く活動」を基本に取り組んできました。

それぞれの活動の総括については「重点プロジェクト総括書」をご参照いただきたいと思います。取り組みを進める中で、協力団体とのつながりを持つことが出

来たことで、活動の幅が広がったことは一つの成果といえると思います。

## 次年度よりの重点プロジェクトも 「災害支援」に決定

御同朋の社会をめざす北海道教区委員会では、2015年度からの3ヶ年についても、引き続き「災害支援」を継続していくことが承認されました。先行きの見えない状況に置かれていた被災者の苦悩は、時間とともに複雑化し深まっている状況であり、放射能被害の深刻さに関する価値観の違いによる住民対立など、いまだ復興へのイメージすら描けない苦悩があることを今までの活動から知らされました。20年前に経験した阪神淡路大震災をみますと、神戸市の自死数のピークが震災から4年後であるとの統計などから、被災者への支援は今後ますます重要であることが推測されます。

また、新しい3ヶ年については、新たな実行部員を公募し、15名程度の部員で取り組んでいくことも承認されました。

## 専門委員会報告

### 【僧侶研修部会(忍関崇教部長)】

僧侶研修部会は、教学・法式・布教の三本柱をおさえ「僧侶の本分」を実践することを目標に掲げ、今年度「僧侶研修プログラム パイロット版」を開催し、3プロジェクトを会場に組長、副組長、組実践運動担当者などを対象として開催いたしました。

各ブロック共に30名を超える参加をいただき、2015年度より進める「僧侶研修プログラム」の趣旨や「葬儀」をテーマに教学・法式・布教の三本柱の講義をおこない、研修プログラムへの参加奨励を各組にて行っていたべく旨周知を行いました。

2015年度よりの取り組みとしては、「僧侶研修プログラム」を各ブロックにて開催することと、併せて研修内容を教学・法式・布教の各部門の巡回講師にて講義内容を協議していくことを進めてまいります。

### 【門信徒教化部会(豊田靖史部長)】

門信徒教化部会は、お寺に人を集めることを目標に掲げ、その方策について協議を行ってまいりま

した。

主に教区にて「御堂演奏会」開催に向けて企画を行い、平成28年の伝統奉告法要に併せて準備を進めています。仏教讃歌を中心に課題曲を設定し、全道から集まるお念仏の仲間と大合唱を行うことを通して仏法を味うことを目的として、ご縁作りのきっかけにと考えております。

2015年度もそれらについて協議を重ねると共に、各教化団体の情報交換やキッズサンガ、子ども・若者ご縁づくりの周知についても進めていきます。

#### 【社会部会(亀井義昭部長)】

社会部会は、社会において浄土真宗が発揮している状況をつくりだし、お寺にご縁のないひとへの「つながり」づくりを目標に掲げて、2014年度は公開講座「いのちの終わりをみつめあう医療者と宗教者の対話」並びに札幌龍谷学園高等学校一年生を対象に「いのちの授業」を開催いたしました。

公開講座は、人権・社会問題に関する啓発学習の一つとして「いのちについて考える」シンポジウムの開催に向け協議を進める一年の予定でしたが、龍谷大学の早島

理特任教授からの提案を受け、早島科研との協力のもと開催をいたしました。医療関係者とのつながりやご門徒をはじめ、一般の方々も来場いただけたことは大きな意味があったと思います。

また、「いのちの授業」については、高校生に対して「いのち」について考えるきっかけとなる素材をチームいちばん星(教区内僧侶・寺族の朗読チーム)の協力をいただき、いのちを大切にすることはどのようなことかを共に考えることができました。

さらに、開催後のアンケートや授業参観をさせていただき、生徒達の思いを聴くことが出来、現在の高校生の考えやいのちに関するニュースへの関心度を理解することができたことは、今後につながる材料となりました。

2015年度についても、シンポジウムの開催やいのちの授業の継続、各寺院における行事の提案と検証について協議を進めてまいります。

#### 【寺院活動支援部会

(河崎琢哉部長)】

寺院活動支援部会は、教区内の寺院活動を支援するための方策と立案を実施することを目標に掲

げ、2014年度は宗谷組利尻島への移動教務所を実施いたしました。

利尻島には現在2ヶ寺があり、宗谷組内寺院との交流が少なく、過疎による門徒戸数の減少と寺院維持への不安があげられました。また報恩講は島内2ヶ寺のみで参り合いとなつているため、教区からの布教使派遣のみならず、法要支援の依頼がありました。

それを受け、2015年度は、報恩講への讃嘆衆の派遣を検討するとともに、宗谷組以外での移動教務所実施に向け各組への働きかけをおこなつてまいります。

なお、各部門の総括については、総括書をご参照ください。

## 2015年度 活動計画

今年度から、より具体的に活動を実践していくために「重点プロジェクト」を「重点活動部門(重点プロジェクト)」、従前の経常部門を「実践活動部門」へ変更しました。

「重点活動部門」については、

## 2014(平成26)年度 教区支援金入者ご芳名

(敬称略・順不同)

(円)

北見東組 秀岳寺 二八、二五〇

上川南組 仏教

壮年会研修会 三三、〇〇〇

上川南組 門信徒

協議会総合研修会 五九、三四六

上川南組 専証寺 二五、〇〇〇

西光寺 ばかり

仏教婦人会 四六、〇〇〇

北見西組 門信徒

研修大会 五六、七七一

北見西組 仏教

研修大会 二八、二〇〇

北見西組 仏教

研修大会 八三、九五二

北見東組 仏教連盟 一一八、〇〇〇

上川南組 専証寺 一七、〇五〇

北見西組 西光寺 六八、五七四

教務所支援金箱 二〇、四一三

上川南組 永楽寺 一〇、五〇〇

山口 玄明 一〇、〇〇〇

後志組 仏教

連絡協議会 一三、八〇九

後志組 仏教

連絡協議会 一〇、九九四

空知北組 仏教

婦人会 一三七、四五六

前項の通り昨年まで「災害支援」を継続し実施し、「実践活動部門」においては北海道教区総合基本計画(10ヶ年)に基づき各専門部会活動をさらに進めいきます。

また、僧侶研修会活動として、人権・差別問題について研修を行う「同朋学習プログラム(仮称)」の企画を行い、今現在も苦しんでいる被差別者に思いをよせる学びの継続を協議しております。

次に、門信徒教化活動として、「子ども・若者」縁づくり(キッズサンガ活動)の推進、各教化団体活動の充実、新たに連研推進協議会の設置を行います。

【子ども・若者」縁づくり

(キッズサンガ活動)

昨年度、キッズサンガをさらに進めていくために宗派内に「子ども・若者」縁づくり推進室」が設置されました。この部署はこれまでのキッズサンガ活動をさらに展開して「子ども・若者」からご縁作りを行いお寺に馴染んでもらうために企画・立案する部署です。これを受け、教区でも啓発活動とともに『子どもも法事の主役です』リーフレットの配布、サポーター協議会を2回開催いたしました。

た。

今年度は、宗派では啓発活動と共に、「思春期学講座」や高校生を対象とした「平和を学習する集い」などを企画しています。

教区においても今年度はお寺がより地域に馴染むために「お手伝い大作戦」を企画しております。また、前回の全ヶ寺発送で「子ども・若者」縁づくり」報告書の提出をご依頼をさせていただました。地域住民への声かけやご門徒宅へのお参りの中でのご縁作りなどがありましたら〇を付けていただきご提出下さい。

全国的に「地域に子どもや若者がいない」というお寺があります。その中でもお参りの案内などを1家族に1通ではなく、一人ひとりの名前を書いて送ったり、離れて暮らしている方々に毎月法語絵がきを送ったりしている方々もいらつしやいます。「子ども・若者」縁づくり」はご縁を【作り、繋ぐ】取り組みです。『1つのご縁×寺院110,000ご縁』というコンセプトがあるように、まずは1つのご縁を作ることから始めていきますように!!

※子どもとは「乳幼児から思春期にあたる人(0歳から小中学

生)」を指し若者とは「思春期から青年期にあたる人(中高生から40歳前後)」を指します。

【連研推進協議会】

北海道教区では、各組において組連研を実施いただいており、現在多くの門徒推進員が登録されています。

しかし、組連研の未開催組や長期休止もあり、開催に向けての方策を協議する部門がなかったことから、協議会を立ち上げ、よりいっそうの連研の推進に取り組んでいくため設置をおこないます。

この協議会においては、教区内の連研中央講師や研修講師(中央実習修了者)また実践運動教区委員会の各専門部長をメンバーとして、先の課題解消に向け、連研のための研究会の内容企画や教区の連研の取り組みの再点検を行っていきます。

これらの活動を通して、御同朋の社会の実現に向け、今年度も北海道教区全体で実践的に取り組みを進めてまいりますので、ご理解ご協力の程、お願いいたします。

教務所支援金箱	一七、二〇九
Bブロック総代	
研修会	八五、八八五
空知北組 円満寺	一〇、〇〇〇
Bブロック僧侶	
研修会	一〇、〇〇〇
北見西組 正覺寺	一〇、〇〇〇
Cブロック総代	
研修会	五一、六〇〇
上川北組 極楽寺	一〇、〇〇〇
十勝組 浄福寺	二〇、〇〇〇
宗谷組 広徳寺	五、〇〇〇
日高組 仏教婦人	
大会	四五、〇〇〇
空知北組 廣徳寺	一〇、〇〇〇
後志組 光寿寺	一〇、〇〇〇
空知北組 圓覺寺	一〇、〇〇〇
留萌組 浄楽寺	五、〇〇〇
札幌組 光明寺	一〇、〇〇〇
北見西組 光源寺	一〇、〇〇〇
胆振組 願隆寺	一〇、〇〇〇
北見西組 法念寺	一〇、〇〇〇
宗教法人 專覚寺	一、〇〇〇
日高組 西光寺	一〇、〇〇〇
札幌組 浄楽寺	
門信徒会	一〇、〇〇〇
空知北組 常楽寺	三〇、〇〇〇
上川南組 正光寺	一〇、〇〇〇
十勝組 東光寺	五、〇〇〇

## 2014(平成26)年度 北海道教区門徒推進員・連研履修者研修会 (主管組 北見西組)



教区主催にて毎年開催しております「門徒推進員・連研履修者研修会」が北見西組主管(北見東西組が隔年で開催)のもと、紋別セントラルホテルを会場に門信徒、僧侶併せて51名が参加し開催されました。

研修会講師には、連研中央講師で長野教区飯山組正行寺の井上慶真さんをお迎えし、「み教えを聞いたら自分の生き方がかわるのですか」のテーマのもと、問題提起、班別話し合い法座、まとめを行いました。

まず、問題提起では「仏法を聞いても、縁がもよおせばいつでも

怒り腹立ちの心をおこす私がいる。そのような私だからこそ見捨ててはあげないとお救いくださいるのが浄土真宗の教えである。では、私は変わらなくても良いのか?そこを考えていくと『み教えを聞いたら生き方がかわるのか?』につながる。み教えを学ぶと言うことは、自分自身の生き様に反映されることであるが、今回参加の皆様は、み教えを聞き、生き方が変わったのか、変わらなかったのか?について話し合いをおこなっていただきたい。」とお話くださり、5班に分かれての話し合い法座が行われました。

話し合い法座では各班、「各々で変わる、変わらない」とでは温度差がある。「周りから言われて変わったと感ずる」「み教えを聞き恥



ずかしくない生き方をしたい」「変わらない思いが強いが、自分の中で変わっていききたいという思いもある」「み教えを聞き、反省することが増えた」など様々な意見が出され、否定するのではなく相手の意見を受け止める話し合いが行われました。

最後の講師まとめでは、「変わるか変わらないかで温度差があるのは当然のこと。学ぶということ、知識を得ることもそうであるが、それが自分自身の上で、どう影響があり、どう生き方が変わるのかである。連研、中央教修は、カリキュラムの順番が決まっているが、それぞれの問いからぼんやりとしたものが見えてくるのではないか。それは、それぞれの問題が見えてくるという慶びと、その問題を素通りしていたものが出来なくなるということでもある。

み教えを学ぶと言うことは、腹を立てるなど本性を消し去る事が出来ないということに気付くことであり、それは「臨終の一念に到るまで消えない」という聖人のお言葉のとおり、往生まで私は変わらないかもしれないが、変わらな

いからそれで良いのではなく、積極的に社会と関わっていくことである。

浄土に生まれるものを何一つ持ち合わせていない、間に合っていない私であるが、それでもお救いくださいる慶び(歓喜)と、そのままでもいいという私のこのままではならないという思い(慚愧)、簡単に変わる私ではないが、そうでありたいと思うことで自己の殻が破れていくのではないか。」とまとめていただき研修会を終了した。

研修会終了後は、懇親会を開催し、北見東西組の門徒推進員、連研履修者が情報交換、親睦を深めました。

門徒推進員・連研履修者研修会は、組連研修了者に中央教修へ参加いただく事と、門徒推進員の定期的な学びの場とする事とともに、情報交換と親睦を深めることも目的として開催しております。講師出向に係る経費については、教区にて負担いたしますので、現在組で連研を実施している組や門徒推進員研修会を実施している組で、研修会の主管をいただける組がございましたら教務所までご連絡をお願いいたします。

## 「リーダー研修会 開催」

去る3月26日(木)から1泊2日で、教化センター札幌別院にて北海道教区少年連盟(松平範慶理事長)主催の少年リーダー研修会が行われました。

今回で40回目を迎えたリーダー研修会は道内各地から65名の参加者、17名のジュニアスタッフ(上級卒業生20歳まで)、26名の指導者、合計108名が集まりました。

まず本堂で開会式が行われ、いろいろのうたをお勤めし、自己紹介をしました。

開会式の後、ゲーム大会があり、緊張気味の参加者もリラックスできたようです。

ゲームが終わると初・中・上級に分かれての学習が始まりました。

親鸞聖人についてやお焼香の作法、「阿弥陀様の願い」など、浄土真宗の基本の学びを深めました。

学習の次はクラフト屋台が開かれました。今年は、毎年好評の腕輪念珠や匂い袋作りのほか、プラ版作り、クリアファイルを使用した遊び道具のエックスジャイロ作製で、子どもたちも大いに盛り上がっていました。

夕食後は、再度学習を行い夜のつ

どいを行いました。

夜のつどいではキャンドルサービスとご法話があり、キャンドルの光に照らされたご本尊の前で、みな真剣にご法話を聞いていました。

自由時間になると疲れもない様子で友達と駆け回り、1日目の日程を終了しました。

2日目は札幌別院のお晨朝に参拝し、共々に正信偈をお勤めしました。

朝食後、初級・中級の参加者はお焼香の作法を改めて学び、上級は10年後の自分にに向けた手紙を書きました。

その後、別院各所に設けたチェックポイントを廻る「お寺探索」を行い、最後は使用した別院を掃除して閉会式となりました。

閉会式では参加者へ修了証が送られ、2日間お手伝い下さったジュニアスタッフへ記念品が渡されました。閉会式修了後、皆で記念撮影を行い全日程を終了いたしました。

今回の研修会では多くのジュニアスタッフの参加があり、近年の活動が一つの形になってきたのではないかと思います。

初めての方もそうでない方も、来年のリーダー研修会でお待ちしております。ぜひご参加下さい。

## 仏教章のための 学習会開催報告

去る、3月28日(土)～30日(月)に標記学習会が北海道教区スカウトクラブ主催にて、開催されました。

参加者は室蘭第1団(胆振組本教寺)から3名でしたが、仏教章習得のために、基本作法から仏教基礎、浄土真宗の基礎などを学びました。

ボーイスカウトは明確な信仰のもと、活動を行うこととなっております。参加スカウトは普段の団活動での宗教儀礼より一歩踏み出したこの学習会に緊張しながらも、講師の隊長の話を聞きながら熱心に取り組んでいました。



### 2015(平成27)年度得度習礼講習会日程一覧

2015(平成27)年4月1日以後に得度習礼を受けようとする方は、事前の「得度習礼講習会」受講が義務化されました。この講習会は得度習礼を受講する方を対象に、事前に僧侶としての心構えと基礎的な知識や技能を習得していただきたく、1泊2日の日程で開催いたします。

【開催日】	第1回	2015(平成27)年5月30日(土)～31日(日)
	第2回	2015(平成27)年6月8日(月)～9日(火)
	第3回	2015(平成27)年11月24日(火)～25日(水)
	第4回	2016(平成28)年3月8日(火)～9日(水)

※受講希望の方は、教務所までご連絡下さい。

▼北海日誌

【報告】

- 4月3日 実践運動第1回門信徒教化部会
- 9日 寺族婦人会役員会
- 13日 真宗教団連合拡大委員会
- 14日 保育連盟理事会  
保育連盟総会・常任委員会
- 16日 実践運動僧侶研修部会教学部門会議
- 17日 仏教婦人会総連盟総会(～18日 本山)
- 22日 実践運動第1回僧侶研修部会
- 24日 実践運動第1回寺院活動支援部会  
実践運動第1回社会部会  
仏教婦人会連盟会計監査
- 27日 総代会常任幹事会
- 29日 仏教壮年会理事会・総会・研修会
- 30日 新同朋プログラム(仮称)会議

【予定】

- 5月9日 仏青総会・研修会
- 11日 仏婦・寺婦合同総会・研修会
- 12日 第1回重点プロジェクト実行委員会
- 13日 少年連盟総会
- 16日 まことの保育入門セミナー
- 22日 真宗教団連合第43回研修会
- 24日 札幌別院降誕会・離郷門信徒の集い
- 27日 世界仏教婦人大会(～6月4日 カナダ)
- 6月2日 第1連区布教団研修会(～3日)
- 6日 ほよ～ん相談会(～7日 福島)

- 8日 得度習礼講習会(～9日)
- 17日 浄土真宗青年僧侶連絡協議会理事会
- 18日 浄土真宗青年僧侶連絡協議会フットサル大会
- 19日 紫水会北海道支部
- 27日 中仏スクーリング(～29日)
- 30日 Bブロック僧侶研修会(～1日まで)
- 7月6日 Aブロック総代研修会(胆振組担当)
- 8日 常備会
- 25日 全国保育大会(～26日 札幌)
- 27日 臨時教区会
- 9月28日 Cブロック総代研修会(～29日北見東組担当)
- 10月5日 利尻島報恩講(～7日)
- 27日 Cブロック僧侶研修会(～28日 紋別)
- 29日 Bブロック総代研修会(～30日 宗谷)

前進座「如月の華」公演日程

- 6月10日(水) 札幌市教育文化会館
- 6月11日(木) 旭川市民文化会館
- 6月13日(土) 釧路市・まなぼつと幣舞
- 6月15日(月) 帯広市民文化ホール/小
- 6月17日(水) 北見市民会館

※日程に関しましては変更になる場合がございますのでご了承下さい

北海道教区常例布教日程(予定)

敬称略

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(大阪教区・島中南組・誓覚寺)	(熊本教区・種山組・光澤寺)		(山口教区・岩国組・教法寺)	(熊本教区・熊本西組・両厳寺)		(北海道教区・十勝組・真浄寺)		(北豊教区・京仲組・円成寺)			(兵庫教区・高砂組・善行寺)		(北海道教区・留萌組・西暁寺)	(熊本教区・球磨組・明導寺)	(山口教区・美和組・超専寺)	(熊本教区・託麻組・良覚寺)	(福岡教区・御笠組・願應寺)	(安芸教区・加茂東組・明圓寺)
(山陰教区・三瓶組・専勝寺)	(熊本教区・益西組・正寿寺)	(北豊教区・京仲組・正山寺)	(北海道教区・留萌組・信楽寺)	(北海道教区・留萌組・西暁寺)		(山口教区・都濃東組・専明寺)		(備後教区・沼隅西組・正円寺)			(北海道教区・後志組・無量寿寺)		(兵庫教区・赤穂南組・法光寺)	(兵庫教区・揖龍西組・即応寺)	(北海道教区・函館組・宣法寺)	(山口教区・岩国組・教法寺)	(大阪教区・天野北組・明教寺)	
(東京教区・東組・稱讚寺)	(鹿児島教区・川内組・安国寺)	(東京教区・北組・慈光寺)	(兵庫教区・揖龍西組・即応寺)	(四州教区・宇和島組・圓立寺)				(北海道教区・十勝組・誓願寺)					(山陰教区・鹿足組・善正寺)	(東京教区・世田谷組・正法寺)	(大阪教区・天野北組・明教寺)	(熊本教区・託麻組・良覚寺)		

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。